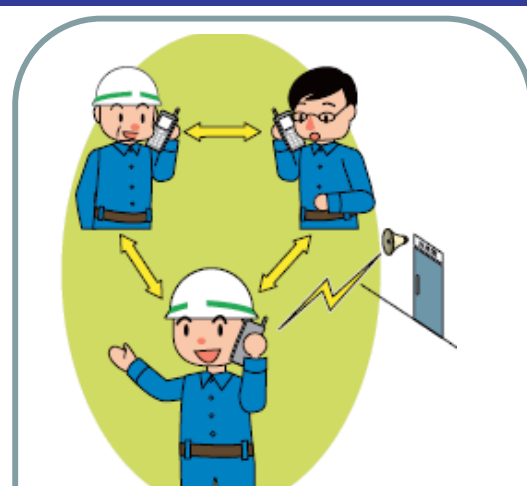


ITを活用した新しい 安全衛生管理手法のすすめ方

IT活用の概要



このリーフレットについて

このリーフレットはIT(Information Technology 情報技術)を活用した新たな安全衛生管理の手法と、その実現手段イメージ(IT機器、システム例)、およびその導入の手引きについて解説しており、

以下の2分冊構成になっています。

- ・概要編(本冊子) 「ITを活用した新しい安全衛生管理手法のすすめ方」
＜IT活用の概要＞
- ・詳細編(別冊) 「ITを活用した新しい安全衛生管理手法のすすめ方」
＜応用システム例に沿った導入の手引き＞

ITの活用は、従来の安全衛生管理の取り組みであるリスクアセスメントとその結果に基づく措置としての工学的対策(ここでは設備対策と表現)と管理的対策を前提としていますので、リスクアセスメントのすすめ方については他の解説書などをご参照ください。

このリーフレットの記載情報は、厚生労働省から(社)日本鉄鋼連盟、(独)労働安全衛生総合研究所への委託事業の結果に基づいています。

目次

I. なぜ今IT活用なのでしょうか？	1
II. IT活用は従来の安全衛生管理とどんな関係にあるのでしょうか？	2
III. 管理的対策で困っていることは？(ITで支援できそうなこと)	3
IV. IT活用の狙い目は？ それでリスク低減はできるのでしょうか？	5
V. IT活用の新安全衛生管理手法の全体像	6
VI. ITにはどんなものがあるのでしょうか？(機能イメージとIT機器例)	7
VI-1 「データベース」	
VI-2 「情報伝達」	
VI-3 「識別・位置等検出」	
VII. 現場課題に応じたIT応用システムの例	10
VIII. IT導入検討のすすめ方	11
IX. IT機能検討の進め方 (『導入ガイド』の概要)	12